

## 2018-2019年 院内がん登録小児AYA集計 報告



国立研究開発法人  
**国立がん研究センター**  
National Cancer Center Japan

**中釜 斉**  
井上 真奈美, 石井 太祐



国立研究開発法人  
**国立成育医療研究センター**  
National Center for Child Health and Development

**五十嵐 隆**  
松本 公一, 瀧本 哲也, 加藤 実穂

### 院内がん登録とは

- 病院でがんと診断または治療が行われたすべての患者さんのデータを、診療科を問わず病院全体で集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査で、国が指定するがん診療連携拠点病院等を中心に2007年より実施されています。
- 「がん登録等の推進に関する法律(第四十四条第一項)」と「院内がん登録の実施に係る指針(厚生労働省告示第四百七十号)」のもと、国立がん研究センターでデータを収集し分析しています。
- 収集・集積したデータを分析・活用することで、がん診療の質の向上、がん対策の策定や実施に貢献することが期待されています。

## 本日の発表の内容

- 集計方法、対象者の概要
- 小児・AYA世代のがんにおける各年齢区分毎の男女別割合
- 小児・AYA世代のがんにおける各がん種の割合
- AYA世代のがんにおける癌腫の内訳
- 小児・AYA世代のがんにおける治療施設種別の診療割合

3

## 2018-2019年 院内がん登録小児AYA集計の概要

- 対象症例：2018年1月1日～2019年12月31日までに、院内がん登録実施施設で新規診断された0歳～40歳未満の症例
- 分類定義
  - 小児がん(0歳～15歳未満)：国際小児がん分類（International Classification of Childhood Cancer：ICCC）第3版/WHO2008改訂版
  - AYA世代のがん(15歳～40歳未満)：AYA Site Recode/WHO2008改訂版
- 施設種別（合計860施設、83,516例）

	小児がん	AYA世代のがん
小児がん拠点病院	15施設（2,050例）	15施設（3,630例）
がん診療連携拠点病院	329施設（4,236例）	435施設（56,735例）
都道府県推薦病院+任意参加病院	139施設（612例）	410施設（16,253例）

4

# 集計対象者の内訳

	小児がん(0歳～15歳未満)				AYA世代のがん(15歳～40歳未満)			
	がん診療連携 拠点病院等	小児がん 拠点病院	県推薦病院 +任意病院	全体	がん診療連携 拠点病院等	小児がん 拠点病院	県推薦病院 +任意病院	全体
集計対象施設数	329	15	139	483	435	15	410	860
全登録数(集計対象)	4,236	2,050	612	6,898	56,735	3,630	16,253	76,618
男	2,318	1,115	350	3,783	14,506	1,216	3,609	19,331
女	1,918	935	262	3,115	42,229	2,414	12,644	57,287
上皮内癌等を含まない	3,520	1,642	499	5,661	35,245	2,691	8,826	46,762
自施設初回治療開始例	2,764	1,560	364	4,688	43,592	2,548	11,922	58,062
(全登録数に占める割合, %)	65.3	76.1	59.5	68.0	76.8	70.2	73.4	75.8

2018年全国集計：自施設初回治療例 79.0%

2019年全国集計：自施設初回治療例 78.6%

小児がん、AYA世代のがんでは、その他の年代を含めた平均より  
初回治療を他施設に依頼する傾向がやや多い傾向（特に小児がん）  
以降の分析は、自施設初回治療開始例を対象

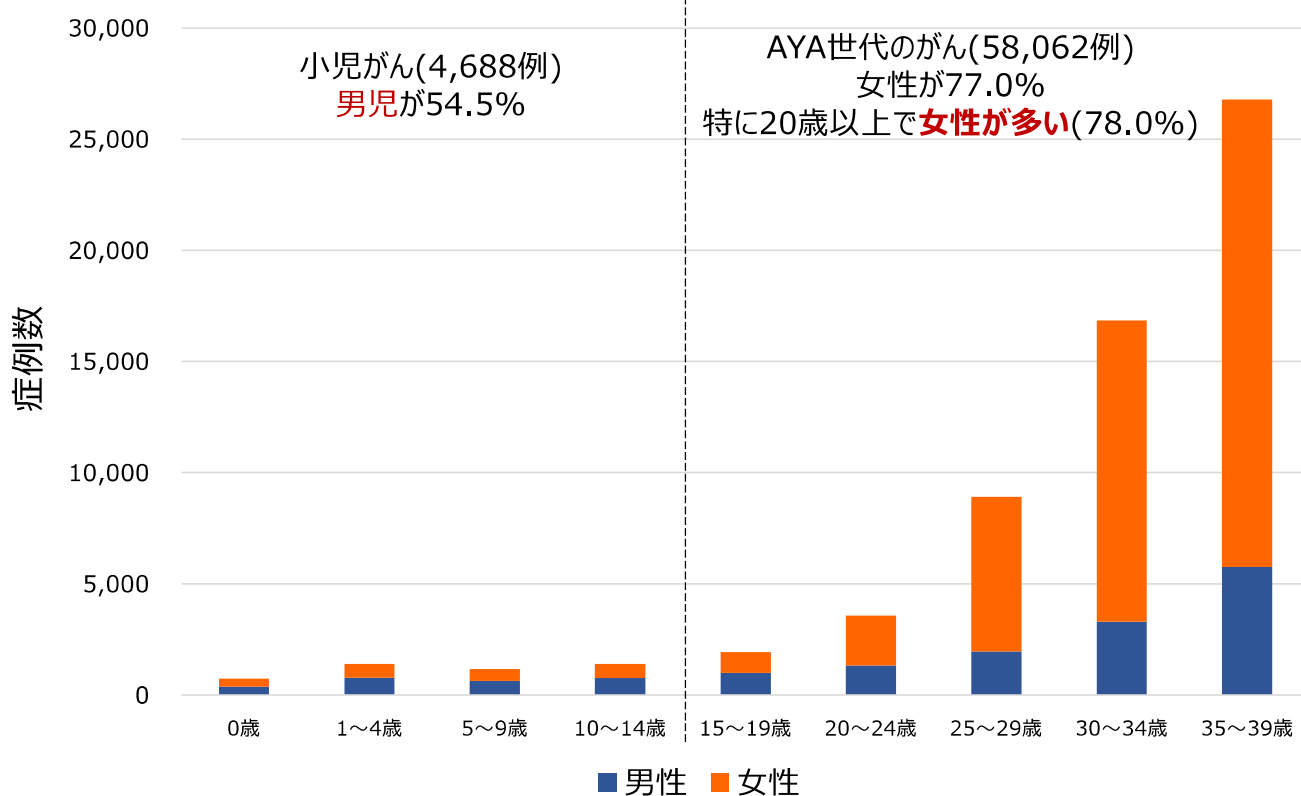
5

## 本日の発表の内容

- 集計方法、対象者の概要
- 小児・AYA世代のがんにおける各年齢区分毎の男女別割合
- 小児・AYA世代のがんにおける各がん種の割合
- AYA世代のがんにおける癌腫の内訳
- 小児・AYA世代のがんにおける治療施設種別の診療割合

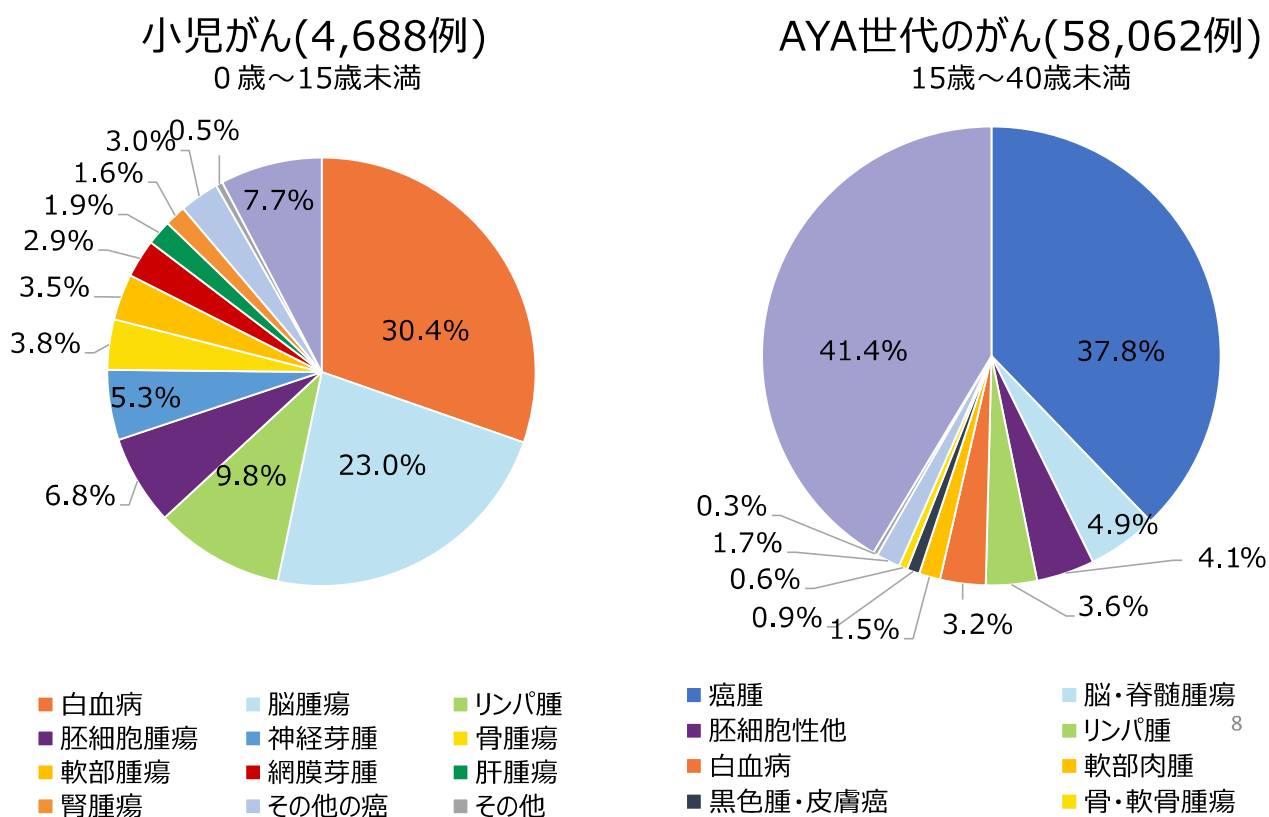
6

## 小児・AYA世代のがんは年齢により患者数の多い性別が異なる



7

## 小児・AYA世代のがんは年齢により患者数の多いがん種が異なる

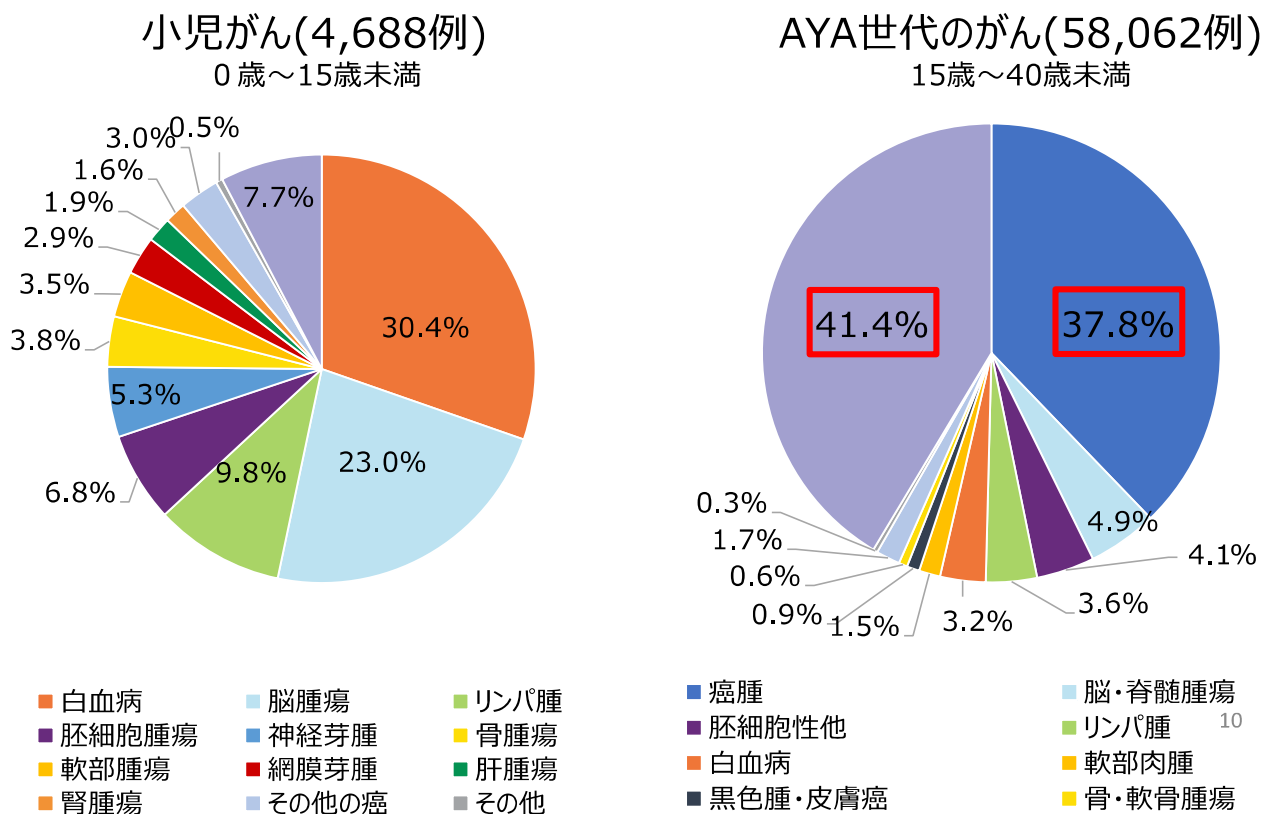


8

# 本日の発表の内容

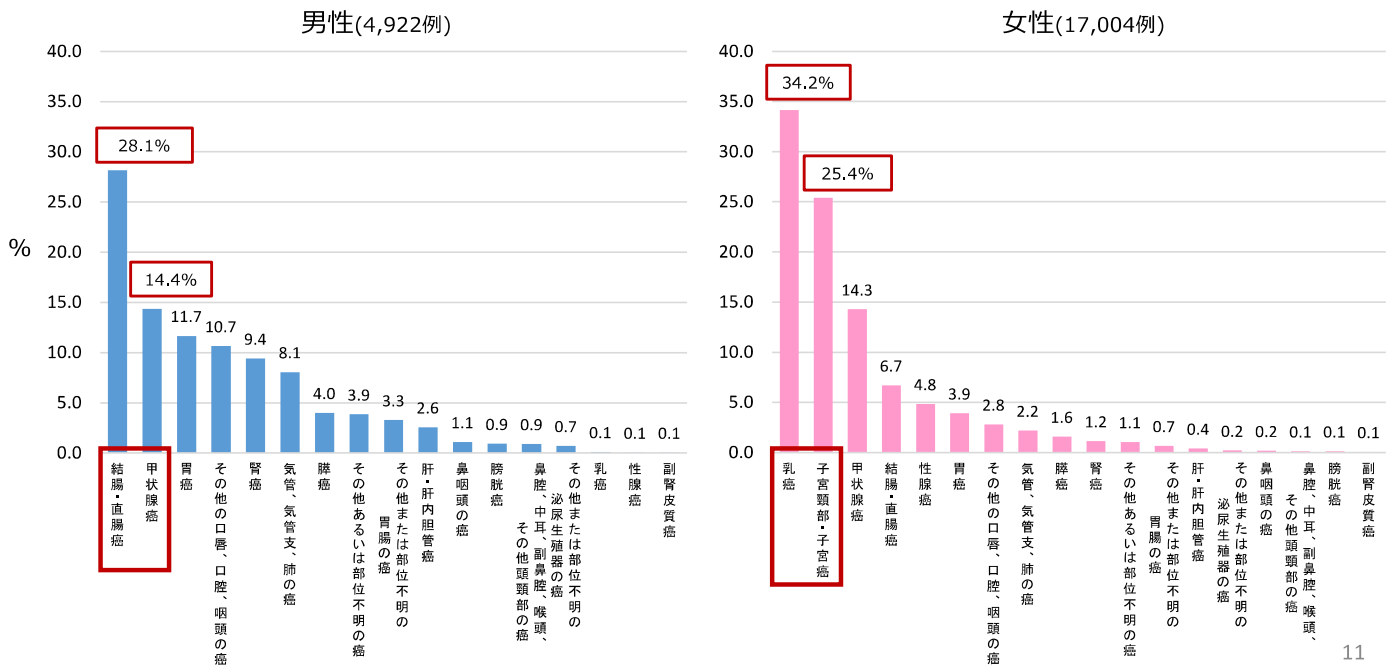
- 集計方法、対象者の概要
- 小児・AYA世代のがんにおける各年齢区分毎の男女別割合
- 小児・AYA世代のがんにおける各がん種の割合
- AYA世代のがんにおける癌腫の内訳
- 小児・AYA世代のがんにおける治療施設種別の診療割合

## 小児・AYA世代のがんは年齢により患者数の多いがん種が異なる



## AYA世代のがんの癌腫の内訳として最多は乳癌と子宮頸部・子宮癌

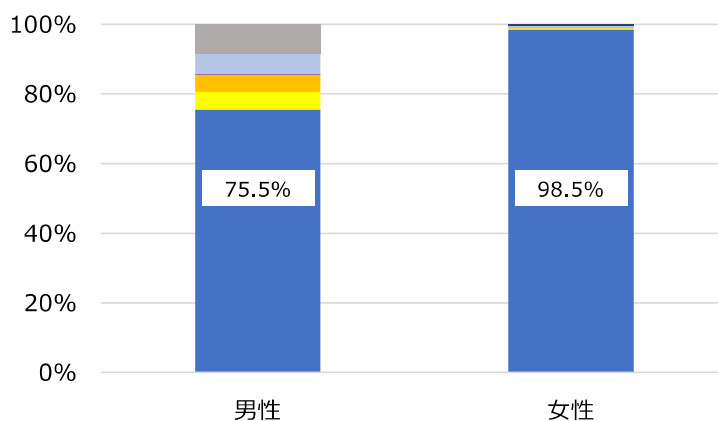
- AYA世代のがんで癌腫と分類された21,926例のうち、  
乳癌 **26.5%**、子宮頸部・子宮癌 **19.7%**、甲状腺癌 **14.3%**
- 男性：結腸・直腸癌 28.1%、甲状腺癌 14.4%  
女性：乳癌 34.2%、子宮頸部・子宮癌 25.4%



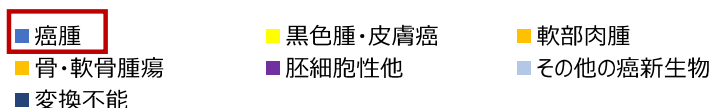
11

## AYA世代のがんにおける変換不能のほとんどは癌腫(上皮内癌)

- AYA世代のがんの37.8%は癌腫(男性で36.9%、女性で38.0%)
- AYA世代のがんでは変換不能例が41.4%(24,010例)あったが、  
上皮内癌を加味して再分類すると、その**97.1%**は癌腫



上皮内癌を加味して分類すると  
全体の77.9%が癌腫  
(男性で44.8%、女性で87.8%)



12

# AYA世代のがんで子宮頸部・子宮癌の多くは子宮頸癌\*

AYA世代のがんにおける癌腫内訳\_上皮内癌を加味しない場合  
(男性4,922例、女性17,004例)  
頻度の高い6つのみ表示

各癌腫の割合(%)	男性	女性	全体
乳癌	0.1	<b>34.2</b>	26.5
子宮頸癌*	0.0	<b>18.1</b>	14.1
子宮癌	0.0	7.3	5.7
甲状腺癌	<b>14.4</b>	14.3	14.3
結腸・直腸癌	<b>28.1</b>	6.7	11.5
胃癌	11.7	3.9	5.7

AYA世代のがんにおける癌腫内訳\_上皮内癌を加味した場合  
(男性5,981例、女性39,264例)  
頻度の高い6つのみ表示

各癌腫の割合(%)	男性	女性	全体
子宮頸癌*	0.0	<b>58.0</b>	50.3
子宮癌	0.0	3.2	2.7
乳癌	0.1	<b>17.6</b>	15.3
結腸・直腸癌	<b>30.3</b>	3.8	7.3
甲状腺癌	<b>11.8</b>	6.2	6.9
その他/部位不明の癌	9.3	2.6	3.5

\*「子宮頸部・子宮癌」のうち、局在コードC530-531,538,539を子宮頸癌とした(形態コード変更なし)

- 子宮頸部・子宮癌の多くは子宮頸癌(71.3%, 上皮内癌を加味すると94.8%)
- AYA世代のがんにおける癌腫では、乳癌・子宮頸癌が多く、特に子宮頸癌では早期発見例も多い

13

## 本日の発表の内容

- 集計方法、対象者の概要
- 小児・AYA世代のがんにおける各年齢区分毎の男女別割合
- 小児・AYA世代のがんにおける各がん種の割合
- AYA世代のがんにおける癌腫の内訳
- 小児・AYA世代のがんにおける治療施設種別の診療割合

14

## 小児・AYA世代のがんで小児がん拠点病院における診療割合は異なる

小児がん				AYA世代のがん					
各施設の診療件数割合 (%)	33.3%		59.0%		各施設の診療件数割合 (%)	4.4%		75.1%	
	小児拠点病院	拠点病院	非拠点病院	小児拠点病院		拠点病院	非拠点病院		
白血病(N=1,423)	29.0	59.9	11.1	白血病(N=1,887)	4.7	76.7	18.6		
リンパ腫(N=458)	32.5	60.5	7.0	リンパ腫(N=2,107)	5.8	80.7	13.5		
脳腫瘍(N=1,077)	32.7	59.3	8.0	脳・脊髄腫瘍(N=2,858)	9.7	75.9	14.4		
神経芽腫(N=250)	37.2	56.0	6.8	骨・軟骨腫瘍(N=371)	13.7	81.9	4.3		
網膜芽腫(N=135-140)	44.4	54.1	1.5	軟部肉腫(N=865)	8.3	82.3	9.4		
腎腫瘍(N=75-80)	34.7	57.3	8.0	胚細胞性他(N=2,404)	4.7	73.3	22.1		
肝腫瘍(N=85-90)	36.7	56.7	6.7	黒色腫・皮膚癌(N=498)	9.4	78.1	12.4		
骨腫瘍(N=175-180)	24.4	75.0	0.6	癌腫(N=21,926)	5.0	77.4	17.6		
軟部腫瘍(N=160-165)	30.2	65.4	4.3	その他の癌新生物(N=981)	5.2	77.8	17.0		
胚細胞腫瘍(N=317)	33.8	59.6	6.6	変換不能(N=24,010)	2.6	71.9	25.5		
その他の癌(N=141)	18.4	70.2	11.3						
変換不能(N=355-360)	56.1	41.7	2.2						

- 小児がんではAYA世代のがんよりも、小児がん拠点病院における診療割合が多い
- AYA世代のがんの多くはがん診療連携拠点病院において診療を受ける傾向  
(その他の世代を含む自施設治療例の拠点病院における診療割合：2018年73.9%、2019年74.2%)

15

## 最後に

- 院内がん登録を用いて、本邦におけるデータが少ない小児がん・AYA世代のがんの診療実態について分析した  
今後も継続的な分析・情報公開が必要
- 小児がんとAYA世代のがんでは、年齢によって患者数の多いがん種や性別が異なる
- AYA世代のがんにおける癌腫では、乳癌・子宮頸癌が多い
- 小児がん診療は、その他の世代のがんよりも小児がん拠点病院で行われる割合が高いが、がん診療連携拠点病院等でも行われている

16